

疲れたら、休みましょう！

疲れたら、休む。そして、元気になったらまた歩き始める。人の一生はそんなことの繰り返し・・・。

障害者を取り巻く環境は、平成15年以降、措置制度から契約制度へと大きく変わりました。四街道市も「障害の種類や程度にかかわらず、誰もが、地域社会から、必要とする支援を受けながら、自己選択と自己決定に基づいて自分らしく生きることができる」まちづくりを目指して障害者基本計画を策定しました。

長い年月を経てやっと、当事者の具体的な支援を求める声が制度や計画に反映されるようになり、支援サービスの拡充がなされてきていますが、住み慣れた地域で、人としての尊厳をもって暮らし続けるにはまだまだ十分とはいえません。

自立した生活をするためには、働く場所と住む家と支援の手が必要ですが、残念ながら3障害（知的・身体・精神）のなかでも精神障害者への理解と支援の手は、遅れているのが現状です。

でも、これまでの一步一步の積み重ねは、NPO法人“希望”と地域活動支援センター“どんぐり工房”を誕生させました。外へ向かって一步踏みだしたいと思った時、受け入れてくれる心強い存在、安心して居られる場所になっているのではないのでしょうか。

たわいのないおしゃべりのできる仲間と出会える場所があるということほど心強いものはありません。地域の中に理解者が増えてきていることも嬉しいです。

これからも、無理をせず、自分自身を大切にしながら、“働きたい”“一人暮らしがしたい”など当たり前のことが夢ではなく現実となるよう、一步一步前へ進んでいきたいものです。

(理事 戸田由紀子)

交流会開催のご案内

正会員、賛助会員、ボランティアの方々および関係機関各位の相互の親睦を図るための交流会を下記の要領で開催します。

本交流会は昨年がどんぐり工房10周年記念行事の準備のため、開催されませんでしたので2年ぶりの開催となります。

だいぶ先の話になりますが、ぜひ予定に入れておいてください。

日 時 : 11月26日(土)

場 所 : 地域活動支援センターどんぐり工房

会 費 : 1,000円程度を予定しております。

詳細につきましては決まり次第別途ご案内申し上げます。

希望活動状況、今後の予定

10周年記念誌 座談会 7月22日(金) 15:00~17:00 わろうべの里

出席者 前波力 高橋紀子 石田財 渡邊皓寛 田中英子 司会: 福間眞樹 書記: 前波喜代子

10周年記念誌 編集打ち合わせ

6/15 7/20 7/27 8/19 8/23 9/2 9/6 9/9 9/16

その他、四街道市内の椎名印刷さんと逐次打ち合わせや校正を重ねています。11月26日の交流会にお渡しできればよいと思います。

心の健康フェア 11月2日(水) 青葉の森

参加。どんぐり坊や、なべ敷き、ミサンガ、手織マフラーなど展示販売予定

大きなテーブル 11月18(金)・19日(土) 文化センター

参加。ブルーベリージャム、ルバーブジャム、野菜、その他展示販売予定

わろうべ祭り 11月25(金)・26日(土)

不参加。

富里市精神障害者家族会<サルビアの会>来所 11月25日(金) 10時30分~

どんぐり工房を見学の予定

理事会

定例 7月 7日(木) 出席者6名

消防訓練実施計画 10周年記念誌発行 職員体制 「放射能汚染と私たちの健康」を考える集い

定例 8月 4日(木) 出席者8名

10周年記念誌の発行 テレビ購入 交流会 希望の定款の見直し

定例 9月 1日(木) 出席者7名

地域づくり写真展 わくわく市民フェスタ出展団体募集説明会 10周年記念誌印刷業者変更

避難訓練 新職員の採用

どんぐり工房活動状況

利用状況

延べ利用者数は6月195人、7月216人、8月224人と目標数(180人)を上回り順調に推移しています。

施設の見学者も毎月ありました。見学者の方がみんな契約されるわけではありませんが、どんぐり工房としては、嬉しいことです。

ただ提供しているプログラムの中で、メインの作業であり、利用者の方にも人気の種接着作業が秋まで一時休止となり、他のじゅず玉を使った手工芸的なもの、廃油を使ったローソク作り等の作業でカバーしている状況です。種接着作業の再開が待たれます。また、安定し、利用者の方に好評なプログラムを開発する必要があります。

ギャラリー

展示内容は充実してきました。まだ一般の見学者はあまり多くありません。紹介、PRのほどよろしくお願ひします。ボランティアセンターの機関紙“てと手”の10月15日号に紹介されます。

編集後記

障害者総合福祉法(仮称)がいよいよ制定されるようです。障害者自立支援法がどのように変わるのか楽しみですが、しかしどんなに立派な法ができて、障害者が真に求める施策を提供してもらわないと絵に書いた餅に過ぎません。ただ東日本大震災、原発事故、大洪水など自然災害、人災が重なり、国の財政がますます悪化する様相を呈しています。障害者福祉施策には悪影響はないものと信じています。

(KN)